

日本語科

自己点検および自己評価

令和8年3月1日

自己点検および自己評価について

- ・本校は、日本語教育機関の告示基準に基づき、教育水準の維持および向上を図るため、自己点検および自己評価を行い、運営改善に必要な措置を講じるものとする。
- ・自己点検および自己評価は、全教職員の意見を聞き取り、本校の運営会議等で評価、検討を経た上で、同会議および直属担当者会で取りまとめ、毎年1回、年度末に行うものとする。
- ・自己点検および自己評価は、以下の5段階評価で行う。
【 5: 達成 4: ほぼ達成 3: どちらともいえない 2: 取り組み中 1: 要改善 】
- ・自己点検および自己評価は、校内で共有し、また当校ホームページ上で公表する。
なお、関係省庁等から提出を求められた際には、速やかに提出する。

教育理念および教育目標

- 本校は語学教育および天理教教義に基づいた信条教育を施し、広く国際社会に貢献できる人材の養成を目的とする。
- 日本語科は日本語、日本文化および天理教教理の基礎を教授し、世界たすけの一翼を担う人材を育成する。
 - (1) 教えを正しく心に修め、その実践を通して、更に信仰を深めていくよう指導する。
 - (2) 帰参したようばく信者の世話取り等、学んだ日本語を活かして御用がつとめられるよう指導する。
 - (3) 将来それぞれの国や地域の布教拠点の一員としてつとめられるよう指導する。

1. 教育理念・目的等評価	評価
1-1 学校の理念・目的・育成人材像は適切に定められているか。	5
1-2 学科の教育目標・育成人材像は、社会のニーズに向けて方向付けられているか。	5
1-3 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生に周知されているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

宗教的涵養が求められる環境下で日本語を学ぶ中、校長はじめ教職員が適宜指導を行い、他者への貢献が行える素地を固めている。また、日本文化を積極的に学ぶ機会を設け、相互理解が深められるように指導し、将来的に広く国際社会に貢献できる人材となれるよう、支援を行っている。

2. 学校運営評価	評価
2-1 日本語教育機関の告示基準に適合しているか。	5
2-2 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	5
2-3 運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか。	5
2-4 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	5
2-5 校長・教員・事務員が目標達成に必要な能力・資質を有しているか。	5
2-6 受け入れる学生の母語に対応できる組織となっているか。	5
2-7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	5
2-8 危機管理体制は整備されているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

留学生を受け入れる教育機関に相応しい姿となれるよう、スタッフ一同、日々研鑽を進めている。日本語教育への理解を深めるため、関係法人の教育機関である天理高等学校や天理大学と連携し、目標達成や、日々の業務に支障が発生しないよう、継続的な教育人材の確保に努力している。天理教海外部の協力の下、アドバイザー制度を実施し、多言語での親身な世話取りを実現している。業務効率化のための IT 機器導入や情報共有化、また付随する研修等を随時実施している。自然災害や事件、事故等の発生時に迅速かつ適切に対応するための危機管理体制を構築している。

3. 教育活動（カリキュラム）	評価
3-1 理念・教育目標に合致したコースを設定、カリキュラムを体系的に編成しているか。	5
3-2 校長、主任、専任教員および非常勤教員の職務内容や責任権限を明確にしているか。	5
3-3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか。	4
3-4 成績評価、卒業判定の基準は明確になっているか。	5
3-5 出席簿および授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録しているか。	5
3-6 学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っているか。	5
3-7 担当学生の学習目的、試験結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか。	5
3-8 補助教材、生教材を使用する場合は、著作権法に留意しているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

学生に合わせたカリキュラムを組み、目標実現に向けた適材適所の講師人材配置を行っている。

出席簿、学習の記録、成績評価を備え、必要に応じて共有している。

学生の日本語能力を随時確認し、レベルに応じて、適切なクラス編成を行っている。

(3-3)より充実した日本語教育環境を構築するため、計画的な人材の確保を進めていく。

4. 学習成果	評価
4-1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理しているか。	5
4-2 理解度、到達度測定と評価を適切に行い、その結果を的確に学生に伝えているか。	5
4-3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。	5
4-4 卒業後の進路を把握しているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

学習成績等の記録を補完し、適切に管理している。

外部試験の申し込みを学校が一括で行い、試験結果も把握している。

卒業後の進路および在留資格の現状も把握している。

5. 生徒支援	評価
5-1 入学直後のオリエンテーションを実施しているか。	5
5-2 日本社会を理解し、適応するための取組みを行っているか。	5
5-3 国民健康保険等の加入指導および支援を行っているか。	5
5-4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っているか。	4
5-5 不法残留、資格外活動、犯罪関与等をさせない取組みを継続的に行っているか。	4
5-6 住居支援を行っているか。	5
5-7 アルバイトの指導および支援を行っているか。	5
5-8 夏休み等の長期休暇中の学生対応ができているか。	5
5-9 進路指導を適切に行っているか。	5
5-10 重篤な疾病や傷害および交通事故のあった場合の対応を定めているか。	5
5-11 感染症発生時の措置を定めているか。	5
5-12 気象警報発令時や災害時の避難方法等を定め教職員および学生に周知しているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

入学時には学生の母国語での同時通訳によるオリエンテーションを実施し、日本での生活や学業等が円滑に進められるよう便宜を図っている。

原則、全寮制であり、共に暮らす中で日本や日本文化に対する理解を深め、また生活態度の改善指導等も行っている。

学校と共に、学生が所属する天理教教会担当者および天理教海外部が協力して各種支援を行うほか、国民健康保険やビザに関する説明、指導等を実施すると共に、法令遵守等の指導も行っている。

アルバイトは原則禁止しているが、支援体制によって、生活の心配なく、勉学に集中出来る保障や環境を整えている。

長期休暇時の支援や、卒業後の進路相談等にも積極的に関与し、随時指導等も行っている。

感染症を含む疾病対策や、事故等の発生時に適切に対応するための体制を構築している。

警報発令時や災害等の脅威に対処すべく、それぞれ対応策を定めており、避難訓練の実施等も含め、学生および教職員への周知を図っている。

(5-4)入学時及び手続き時期に指導を行っているが、定期的、継続的に行うように改善していく。

(5-5)犯罪関与等をさせない取り組みに関しては、継続的な啓蒙を図っていきたい。

6. 教育環境	評価
6-1 教室は十分な照度、適切な換気で、語学教育に必要な遮音がなされているか。	5
6-2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めているか。	5
6-3 教育内容および学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用可能であるか。	5
6-4 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備しているか。	5
6-5 教員および職員の執務に必要なスペースを確保しているか。	5
6-6 バリアフリー対策を施しているか。	5
6-7 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置しているか。	5
6-8 階段、廊下等は緊急避難時に危険の無い形状に保たれているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

校舎内は教室数やトイレの数が十分に確保されており、図書室や自習室、談話室等も完備している。
 校舎および教室内の環境は快適に保たれており、学習に集中できる配慮がなされている。
 バリアフリー対策が行われており、エレベーター等も完備している。
 緊急避難時に問題のないよう、階段や廊下等は常に整理整頓がなされている。

7. 入学者の募集	評価
7-1 教育内容を含む、最新かつ正確な学校情報を多言語で開示するよう努めているか。	5
7-2 海外の募集代理人の行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	5
7-3 選考時に学習意欲や日本語能力、経費支弁能力等について適切に確認しているか。	5
7-4 選考時に学校関係者が面接等を行うよう努めているか。	5
7-5 入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、および学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記しているか。	5
7-6 関係諸法令に基づいた学費返還規定を定めて公開しているか。	4

<現状・具体的な取り組み／課題>

原則、天理教の教えに共感する者のみが出願する日本語学校であり、国内の天理教教会や、各国・地域に所在する天理教の海外拠点を通して学校紹介や募集が行われる。なお、その他の仲介者、エージェント等の利用は一切行っていない。

学校の詳細情報や校納金等の情報は入学案内や学則等にも明記し、多言語での情報公開も行っている。本人が所属する天理教教会長および直属教会長、また天理教海外拠点長および天理教海外部長の推薦を得た上で出願され、学習意欲や日本語能力、経費支弁能力等についても確認がなされてから選考が実施される。

(7-6)学費返還については、規定を学則に盛り込むように検討を進める。

8. 財務	評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	5
8-2 予算および収支計画の妥当性が保たれているか。	5
8-3 適正な会計監査が行われているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

年度ごとに予算を組み、収支計画を立てている。適宜、試算をもとに予算の見直し等も行っており、中長期的な財務基盤は安定している。

会計上の問題や、使途不明金等が発生しないよう、会計監査を必ず行っている。

9. 法令遵守	評価
9-1 法令遵守に関する担当者を定めているか。	5
9-2 学生に対する日本の法律、入国管理および難民認定法を指導しているか。	5
9-3 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか。	4
9-4 個人情報保護のための対策をとっているか。	4
9-5 出入国在留管理局、および関係省庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか。	5
9-6 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	5
9-7 自己点検・自己評価の結果を公開しているか。	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

入管法を教職員および学生に周知徹底するため、定期的に会議や説明等を実施している。

出入国在留管理局および関係省庁への届出や報告を遅滞なく行っている。

メディアリテラシーや、コンプライアンス意識を高めるための研修を実施している。

個人情報が保護されるよう適切に管理し、情報漏洩防止や、閲覧制限等も行っている。

(9-3) (9-4)年度初めの研修で取り組む内容であるが、今後、継続的な取り組みも実施していく。

10. 地域貢献・社会貢献	評価
10-1 学校の教育資源や施設を活用した地域貢献・社会貢献を行っているか。	4
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	5
10-3 公開講座等を実施しているか。	4

<現状・具体的な取り組み／課題>

地域と連携し、小学校や中学校、高校との異文化交流会や、清掃ボランティア活動等を実施している。

地域からの要請で、お祭りやイベント等にも参加している。

日本語教育に関する理解を深めるため、高校生への公開講座や、大学生への啓蒙活動等を行っている。

(10-1)(10-3)教育機関として、より地域に根ざした活動、社会貢献活動を継続して実施していく。